

広報よこしば ④

員を中心に、大勢の人の協力を得て目的達成のため努力する。

問 農林環境改善センターを建設し、住みよい農村環境づくりを成すとあるが。

答 53年度に当町が農村総合整備モデル事業の実施地区に指定された際、その事業計画の中で農業者のやすらぎと研修の場として改善センターの建設を予定していたが、国のモデル事業に対する予算枠が、当初計画よりはるかに下回って実施されないため、このまま推移すると改善センター建設は、10年から15年後でなければ建設が出来ない。

従つて町では、空港公団の助成を得て58年度に計画敷地内に、センターにかかる施設として文化会館を建設した。施設内容も多目的利用が計れるよう設計されており、農業者を含む町民一般に、大いに活用されている。

問 商業園拡大のための駐車場の整備と商店街の近代化への対策は図られたか。

商業園の拡大のためには、駐車場の必要性を感じている。町・商店・商工会三者一体となつて改善策を見出している。また、魅力ある商店街にするため、商工振興推進協議会等の

意見を聞いて検討していく。

問 中小商店の経営安定のため町の融資制度を一層充実させる必要があると思うが。

答 町は49年より、資金三千万円を取扱金融機関に貸し付け、その7倍の二億一千万円の範囲内で町内の中小企業者に融資するもので、これに対し町は、年4%の範囲内で利子補給をしている。現在まで相当数の利用者があり、中小企業の経営安定に寄与している。

問 サケ漁の将来と観光との提携化の見通しは。

県水産部がサケ回帰南限への挑戦と、新しい漁業資源の開発を目的に、51年度から栗山川にサケ放流をしている。59～60年度では、それぞれ百万尾を放流し、51年度から通算すると約700万尾を放流した。回帰率については年度差があるが、平均すると一万尾の放流に対し2.8尾帰つてきている。潮流などにより微妙に左右されることから、現段階では試験研究にとどまり、観光に結びつけるには、まだ難しい面がある。

問 観光協会の育成と充実対策は図られているのか。

37年設立当初は、観光開発の調査、観光客の誘致、地方物産の宣伝など活動に活動していたが、43年頃から会の活動は次第

に衰退の一途をたどっている。

現在は、商工会が窓口となつて会員を募るなど、商工会内部の観光委員会の活性化を強め、観光協会の建て直しを図りたいと考えている。

文化行政

問 文化財保護のための啓蒙活動と郷土資料館の建設についての考えは。

答 資料館の建設については、47年頃から計画があつたが、建設敷地や資金の問題で実現されなかつた。57年度に文化会館が建設されるにあたり、資料館に代わるものとして資料室を一室設け、文化財等の展示に備えている。

59年度に出土した遺物の一部と発掘に係る経緯、文化財の重要性等、文化祭に展示し、現在もそのまま展示して周知に努めている。また、町文化財審議委員の協力をいただいて、農具等を中心的に約50点の民俗資料を収集保管している。

現在、埋蔵文化財保護のための周知事業の一環として、県費補助を得て、町内の埋蔵文化財の分布調査を実施中である。

いないなど服装のみだれが目立つ。また、巨費を投じて造った交通安全施設も利用している生徒はごく少数で、登下校の際のモラルが低下している。非行を未然に防止するために、当町と近隣中学校の現状を問う。

問 服装のみだれ、ヘルメットの完全着用を含めた登下校のモラルについては、その都度、校長や教頭を通じて指示している。非行に対する誤り伝えられている面もあるので、両親や地域の方々の協力を得て、事情を正しく把握して適切な指導をするよう努める。

近隣中学校では、一部に勢力争い的な行動が見られるが、学校間で常に連絡をとり合つて指導している。

国保給付費

問 本年度の国保給付費は前年度比141%だが、これほど増額しなければならない理由はなにか。

答 61年度どのよくな対策でのぞむか。

問 休日当直者の勤務姿勢で気づいたこと2点伺いたい。

過日、急病人が出たため受入れ病院を聞いたところ、取り扱つていないとの回答だった。町民が一番頼りにしている公的機関としての役場では、職員教育はどうのよにしているか。

また無線放送が概して早口のため聞き取りにくく、火災の放送に際しての鎮火の場合、場所時間が放送されないので確実なため、商工振興推進協議会等の

情報流してほしい。

問 窓口・電話の応対は親切、ていねいをモットーにするよう指導しているが、指摘のようないいなど服装のみだれが目立つ。また、巨費を投じて造った交通安全施設も利用している生徒はごく少数で、登下校の際のモラルが低下している。非行を未然に防止するために、当町と近隣中学校の現状を問う。

問 服装のみだれ、ヘルメットの完全着用を含めた登下校のモラルについては、その都度、校長や教頭を通じて指示している。非行に対する誤り伝えられている面もあるので、両親や地域の方々の協力を得て、事情を正しく把握して適切な指導をするよう努める。

近隣中学校では、一部に勢力争い的な行動が見られるが、学校間で常に連絡をとり合つて指導している。

問 本年度の国保給付費は前年度比141%だが、これほど増額しなければならない理由はなにか。

答 61年度どのよくな対策でのぞむか。

問 休日当直者の勤務姿勢で気づいたこと2点伺いたい。

過日、急病人が出たため受入れ病院を聞いたところ、取り扱つていないとの回答だった。町民が一番頼りにしている公的機関としての役場では、職員教育はどうのよにしているか。

また無線放送が概して早口のため聞き取りにくく、火災の放送に際しての鎮火の場合、場所時間が放送されないので確実なため、商工振興推進協議会等の

非行の有無

問 中学生には、記章をつけて